

# 農作物や園芸施設等の雪害防止対策について

平成29年1月11日  
福井県農業総合指導推進会議

## <農作業安全>

施設等の雪害防止作業や除雪作業を行う時は、足場や高所からの転落、雪で滑っての転倒等に注意する。冬季は、日が短く寒いことから、急いで作業を進めようとするあまり事故を起こしやすくなるので、複数人数で時間に余裕をもって作業を行うよう努める。

## <ハウスビニールの除去>

- ・耐雪型以外のハウスは、積雪前に速やかにビニールをはずしておく。

## <ハウス園芸>

### 1 積雪前の対策

#### (1)ハウスの補強

- ・事前にハウスを補強するための丸太や竹等をハウス内に持ち込んで置く。
- ・降雪が予想される時は、支柱が土の中に沈まないようブロックなどを敷き、3～4 m程度の間隔で支柱を立ててハウスを補強する (図1-A)。
- ・積雪荷重により肩部が広がると倒壊しやすくなるので、ワイヤー等で引き付ける (図1-B)。なお、ワイヤーの間隔は支柱と同等の3～4 m間隔で張り、支柱とワイヤーは交互に設置し補強を強化する。
- ・写真のようにT字金具やジャッキ等を用いて、支柱をハウスに固定しておくと雪の重み等で沈んだ場合の調整が可能となる。
- ・雪対策と併せて強風に備え防風ネット等の設置、点検や補強を行う。

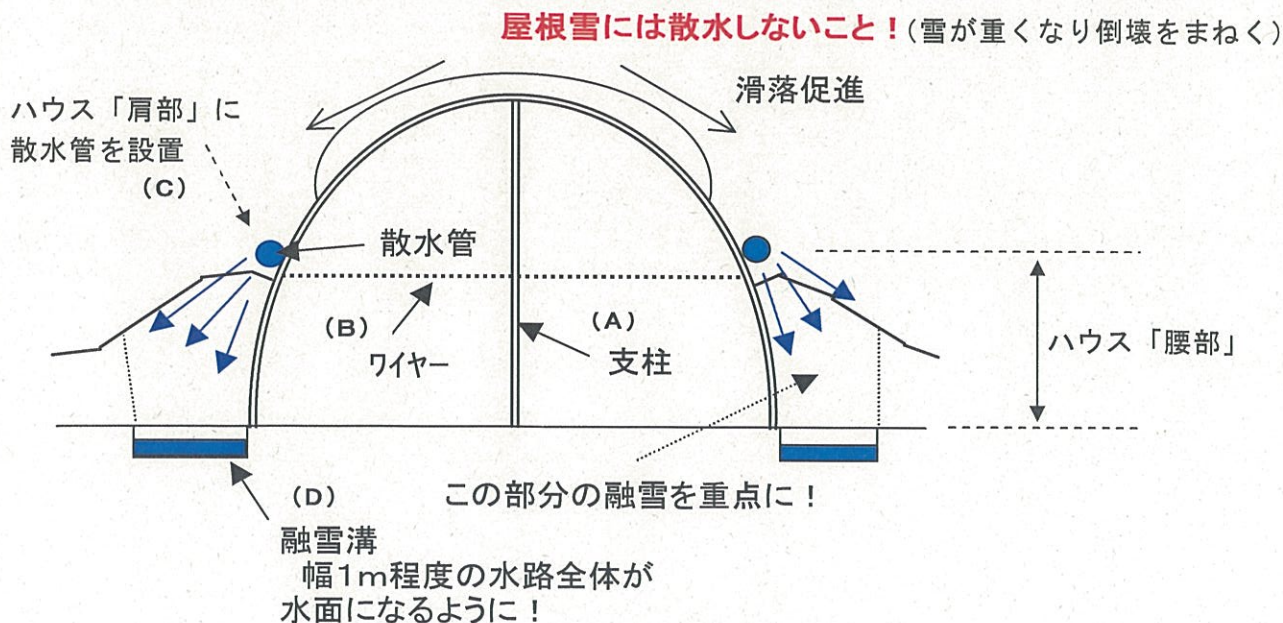
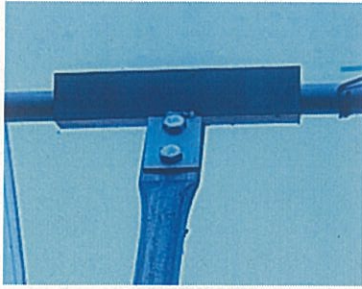


図1 ハウスの雪害対策



T字金具



ジャッキ付きの台

## (2)融雪・除雪の準備

- ・ハウス側面部に堆積した雪を消すために、ハウスの肩面に融雪パイプ（散水管）を設置する（図1-C）。なお、設置してあるハウスは散水ノズルの詰まりを点検する。
- ・ハウス側面部に浅い融雪溝用の水路を整備すると融雪効果が高い（図1-D）。この場合、ハウス内に融雪水が浸水しないように留意する。
- ・除雪機を用いる場合は、作業がスムーズにできるようあらかじめハウス周囲の障害物を取り除き通路を確保しておく。

## 2 積雪後の対策

### (1)屋根雪の滑落促進

- ・ビニールハウス等では、低温日に雪が屋根面に氷着することによって屋根雪の滑落を悪くするので、カーテンを開放して4～5℃に室内を加熱する。
- ・積雪による被覆資材の弛みが直管パイプに引っかかって屋根雪の滑落を阻害するので、積雪が多くないうちに除雪する。特に、天窗は積雪しやすいので注意する。

### (2)着雪防止・沈降圧防止

- ・被覆資材を除去してあるパイプハウスでは、積雪によりハウス肩部や腰部のパイプ等を埋没したままにしておくと、沈降圧によって変形、破損等の原因になるので、パイプ部を早めに掘り出しておく。

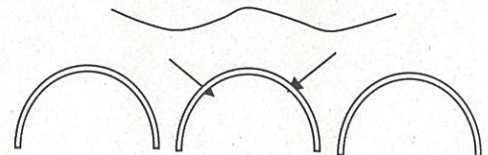
### (3)ハウス回りの除雪

- ・ハウスの融雪は側壁部に堆積した雪に散水する。なお、屋根部まで積雪してから除雪する場合は、ハウス両側を均等に除雪するようにし、片荷重によるハウスの倒壊を防ぐ。
- ・除雪機を用いる場合は、ハウス周囲を整理して除雪機械の通路を確保しておく。



ハウスを覆う位の積雪があった場合、肩の部分から除雪を開始する。

ハウスの隣接間隔が狭い場合は、1棟おきに休作して被覆材を除去し、雪の捨て場を確保する。



## <大麦>

- (1)融雪水が速やかに排水されるよう、積雪前に排水溝、排水口（水尻落とし口）を確認し、手直しする。
- (2)排水溝に落ちた土をさらう。枕地の畝を作った場合には、畝を切って圃場内部から直接排水口に繋がる排水溝を追加する。
- (3)排水口（水尻落とし口）の手直しでは、排水口を必ず額縁排水溝の底面より下にする。（水田排水口は水稻の水管理用で高いことが多く、一般には切り下げる必要がある。）

## <果樹>

### (1)せん定

- ・せん定をしていない樹は、枝折れの危険性が高まるため、積雪までにせん定作業を進めておく。せん定作業が遅れている場合は、古い側枝が乱立して混み合っている部分や下垂した枝だけでも切除しておく。

### (2)幼木・成木の管理(ウメ、カキなど)

- ・ウメ、カキなどの幼木は結束して樹冠を縮めるか、枝吊りを実施する(図2)。
- ・成木は主枝などの大枝に下から支柱を当てがい、積雪荷重に備える。

### (3)棚栽培での管理

- ・ナシなどの棚栽培では棚を補強する。吊棚は積雪荷重が棚に均等にかからず、少ない雪でもバランスを崩して倒壊する危険性がある。せん定で枝数を減らし雪が棚に積もりにくくするとともに、降雪までに中支柱を入れる。

### (4)ハウス栽培での管理

- ・ブドウやイチジク等でハウスを利用した果樹栽培が増加している。<ハウス園芸>の項を参考にして、万全の雪害防止対策を行う。

### (5)園内の見回り、雪の払い落とし等

- ・降雪中や降雪後は園内を見回り、枝に付着した雪を払い落とし、樹冠下の積雪を踏圧する。
- ・雪に埋まった状態で、樹や枝を放っておくと、融雪時に雪中で骨格枝が沈降して裂開するので、速やかに掘り出し、タル木などの支柱をあてて枝を持ち上げる。

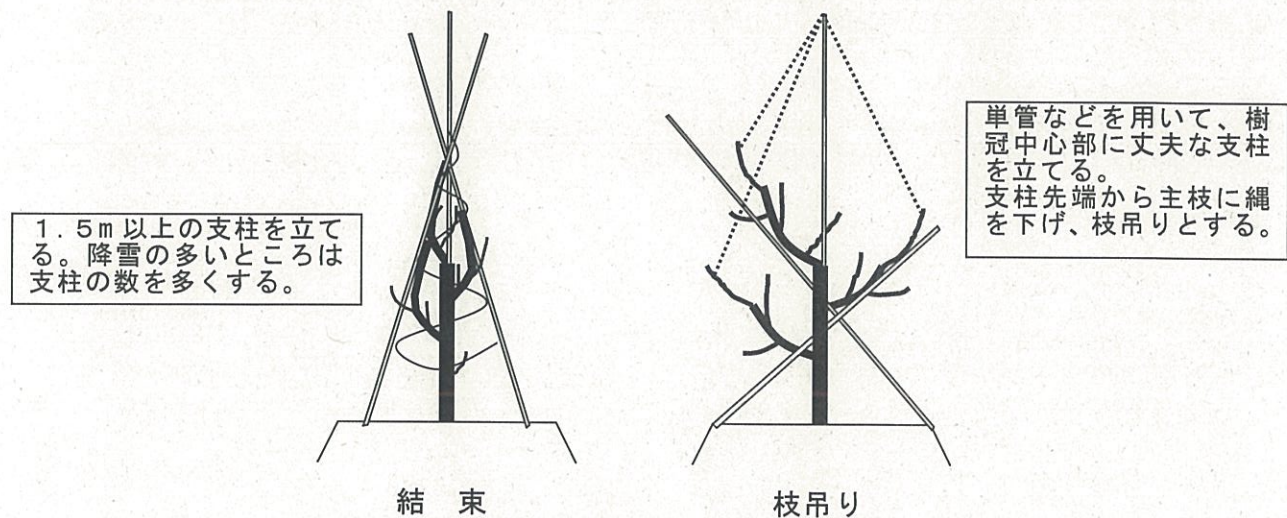


図2 幼木の積雪対策

## <畜産>

- (1)飼料の在庫確認と購入手当を早めに行い、粗飼料等も含めて給与する。飼料が急変しないよう留意する。
- (2)畜舎は換気が不十分になるので換気扇、窓の開閉をこまめに実施して、畜舎環境の悪化により生産性が低下しないようにする。
- (3)豪雪が予想される場合は、予め畜舎等大型建物の除雪計画を立てる。また、畜舎軒下等においてある機械類は落雪による破損防止のためできる限り屋内へ収納する。
- (4)生乳、肉牛、鶏卵等家畜・畜産物の集出荷経路の確保に万全を期す。